

エコアクション21

環境経営レポート

environment management report

取組期間 2023年 7月～2024年 6月



美里町八角トンネル

【第4版】

作成 2024年7月17日

table of contents

- 1・・・ 会社概要・EC21推進体制 ・・・P3.4.
- 2・・・ 環境経営方針 ・・・P5.
- 3・・・ 全会社環境経営目標 ・・・P6.
- 4・・・ 環境経営計画 ・・・P7
- 5・・・ 環境経営計画(次年度) ・・・P8
- 6・・・ 実績評価 ・・・P9
- 7・・・ 具体的な取り組み状況 ・・・P10.11
- 8・・・ 環境法規制登録表 ・・・P12
- 9・・・ 代表者評価 ・・・P13

事業の概要

(1) 事業者名 株式会社 津川建設

代表取締役 津川幸誠

(2) 所在地

本社 : 〒961-4714 熊本県下益城郡美里町安部243-1

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者 : 上野桂樹

連絡担当者 : 上野桂樹

連絡先 TEL:0964-47-0311

FAX:0964-47-2591

(4) 事業規模

資本金 2,300万円

社員数 32名

売上高 789百万円



(5) 事業内容

土木工事業、舗装工事業、水道施設工事業、とび・土工工事業、解体工事業

建設業の許可 熊本県知事許可-第000068号

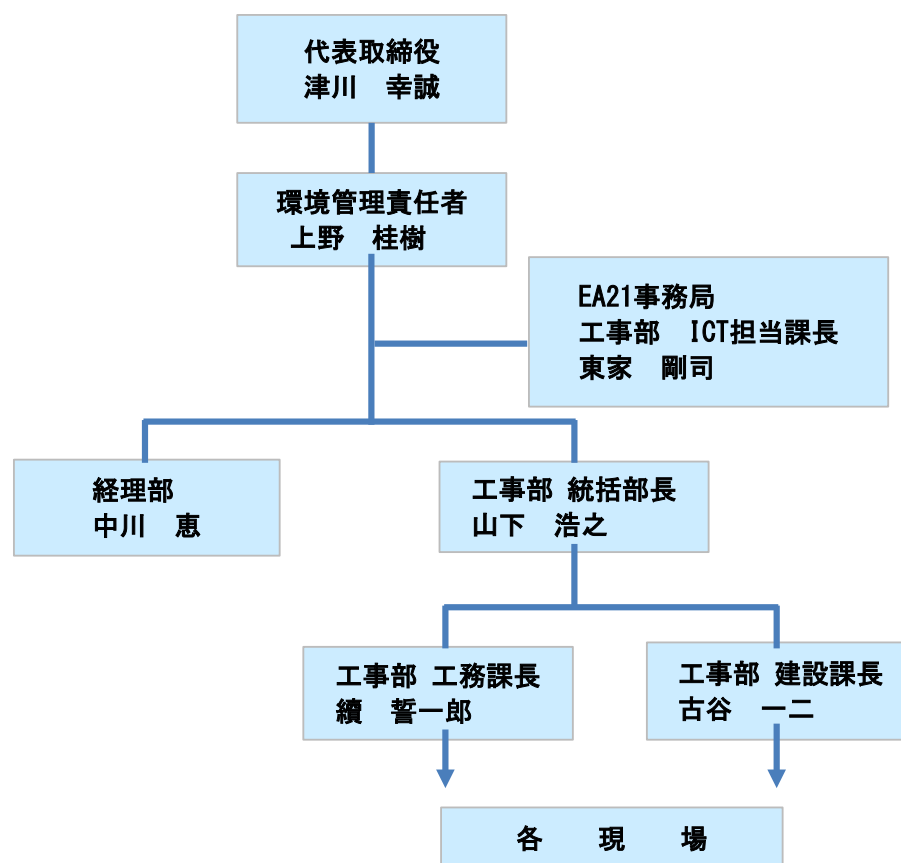
(6) 環境年度

期首: 7月 期末: 6月

(7) 認証登録範囲

株式会社津川建設の全組織、全活動を認証登録範囲とする。

EA21推進体制



代表者	・環境方針の制定 ・環境組織の明確化、必要な資源の投入 ・全体の評価と見直し
環境管理責任者	・マネジメントシステムの構築、実施、維持 ・目標管理票の作成と進捗管理 ・目標に対する実績や問題、改善の社長報告 ・環境コミュニケーションの総括窓口 ・教育・訓練の総括（緊急事態の想定、訓練含む）
EA21事務局	・集計表作成 ・文書、記録作成 ・環境活動進捗の把握
事務所責任者 部門責任者	・環境活動の社員への周知 ・環境管理責任者への報告 ・改善提案のまとめと提言
社員	・環境活動の実施 ・部門責任者への報告 ・改善提案

環境経営方針

【企業理念・環境理念】

未来創造に貢献できる企業であり続けます

we will continue to be a company that can contribute to the creation of the future

株式会社津川建設は、建設業に携わる事業者として、人と自然を大切に、よりよい地球環境の創造及び地域社会に貢献することを目指すため、環境経営方針を定め、以下の事項について積極的に環境活動を推進する。

行動指針

(1) 二酸化炭素排出量の削減



電気 ガソリン 軽油等の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。

(2) 廃棄物の削減



建設工事に伴う産業廃棄物について、分別回収による資源の有効活用に努めます。

建設リサイクル法に従い適切なリサイクルに努めます。

(3) 水使用量の削減



水道使用時の水量を削減し、総排水量の削減に努めます。

(4) 地域貢献



地域の清掃活動を実施して、地域に貢献していきます。

(5) ITC活動の推進

(6) 環境関連法規制の遵守



事業に関する環境関連法規制等を遵守します。

社員全員がこの環境経営方針を周知させ、全員でEA21に取り組んでいきます。
PDCAを回すことにより、環境経営の継続的改善に努めます。

制定：2024年4月1日

株式会社津川建設

代表取締役 津川幸誠

環境経営目標（全社）

会計年度 期首：7月 期末：6月

		実績	環境目標		
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
番号	項目	基準年実績	環境目標	環境目標	環境目標
1-1	二酸化炭素排出量	486,689 kg-CO2	基準年度実績 の1%削減 481,822	基準年度実績 の2%削減 476,955	基準年度実績 の3%削減 472,088
1-2	電気使用量の削減	12,525 kWh	基準年度実績 の1%削減 12,400	基準年度実績 の2%削減 12,275	基準年度実績 の3%削減 12,149
1-3	ガソリン使用量の削減	22,518 ℓ	基準年度実績 の1%削減 22,293	基準年度実績 の2%削減 22,068	基準年度実績 の3%削減 21,842
1-3	軽油使用量の削減	166,265 ℓ	基準年度実績 の1%削減 164,602	基準年度実績 の2%削減 162,940	基準年度実績 の3%削減 161,277
2-1	一般廃棄物のリサイクル推進	- kg	分別活動 の推進	分別活動 の推進	分別活動 の推進
2-2	産業廃棄物のリサイクル推進	- t	建設廃棄物の 再資源化 100%維持	建設廃棄物の 再資源化 100%維持	建設廃棄物の 再資源化 100%維持
3	水使用量の削減	- m3	節水活動 の推進	節水活動 の推進	節水活動 の推進
4	地域貢献	地域清掃	1回/年	1回/年	1回/年
5	ITC施工の推進	-	-	-	-

☆電気のCO2排出係数は2023年度九州電力調整後排出係数0.462kg-CO2/kWhを使用
 ☆化学物質の使用はなし。工事で発生する場合は、SDS等を活用して適切に使用、管理します。
 ☆環境経営の観点から考慮して、少量のために一般廃棄物、水使用量は行動目標とする。
 ☆LPGと灯油は少ないため目標には掲げず日常活動で実施していく。

☆☆二酸化炭素排出量＝電気使用量×0.462
 ＋ガソリン使用量×2.32＋軽油使用量×2.58

☆LPGと灯油は使用量が少ないため目標には掲げず日常活動で実施していく。

環境経営計画

項 目	具 体 的 な 活 動	頻度	事務所	現場
1. 二酸化炭素排出量 1-1. 電気使用量の削減 (一般・産廃共通) 責任者 東家剛司	①昼休みの消灯	毎日	○	○
	②使用時以外のトイレの消灯	毎日	○	○
	③ＯＡ機器、空調機の退社時の電源オフ	毎日	○	○
	④空調機の室内温度設定・実施の徹底	毎日	○	○
	⑤空調機フィルターの定期的清掃	年1回	○	—
	⑥日よけ、ブラインドによる室温上昇防止(夏季)	毎日	○	○
	⑦使用しない設備・機械の電源遮断、プラグ抜き	毎日	○	○
	⑧節電表示の徹底	毎日	○	×
	⑨使用時季(夏・冬)以外はブレーカーを切る(空調機)	適時	○	—
	①～⑨までを意識向上に努める。			
1-2 ガソリン使用量の削減 責任者 上野桂樹	①社用車エコドライブの推進・徹底(アイドリングストップ、経済運転など)	毎日	○	△
	②車両点検の実施(車の状況、タイヤ空気圧チェックなど)	毎日	○	○
	③低燃費代車を増やす	毎年	×	—
	④社用車の車両別燃費の把握	毎月	△	△
1-3. 軽油使用量の削減 責任者 東家剛司	①社用車エコドライブの推進・徹底(アイドリングストップ、経済運転など)	毎日	○	○
	②車両点検の実施(車の状況、タイヤ空気圧チェックなど)	毎日	○	○
	③低燃費代車を増やす	将来	—	—
	④社用車の車両別燃費の把握	適時	—	○
2. 廃棄物のリサイクル化と廃棄物排出量の削減 (一般・産廃共通) 責任者 上野桂樹	①廃棄物の分別徹底	毎日	○	○
	②リサイクル促進	毎月	○	○
	③適切な業者の選定と引渡	適時	—	○
	④マニフェスト伝票の適切な管理	適時	○	○
3. 水使用量の削減 責任者 東家剛司	①節水ステッカー表示	毎日	○	—
	②節水の工夫と実施(適量の給湯、出しっ放し防止など) 意識向上に努める。	毎日	○	—
4. 地域貢献 責任者 上野桂樹	①ボランティア活動の実施	年1回	○	○
5. 環境負荷低減 責任者 上野桂樹	①エコカーの導入	年1回	×	×

評価基準
○：出来た
△：改善の余地あり
×：出来なかった

次年度環境経営計画

項 目	具 体 的 な 活 動	頻度	事務所	現場
1. 二酸化炭素排出量	①昼休みの消灯	毎日		
	②使用時以外のトイレの消灯	毎日		
1-1. 電気使用量の削減	③O A 機器, 空調機の退社時の電源オフ	毎日		
	④空調機の室内温度設定・実施の徹底	毎日		
	⑤空調機フィルター-の定期的清掃	年1回		
	⑥日よけ、ブラインドによる室温上昇防止(夏季)	毎日		
	⑦使用しない設備・機械の電源遮断、プラグ抜き	毎日		
責任者 東家剛司	⑧節電表示の徹底	毎日		
	⑨使用時季(夏・冬)以外はブレーカーを切る(空調機)	適時		
	①～⑨までを意識向上に努める。			
1-2 ガソリン使用料の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底(アイドリングストップ、経済運転など)	毎日		
	②車両点検の実施(車の状況、タイヤ空気圧チェックなど)	毎日		
責任者 上野桂樹	③社用車の車両別燃費の把握	毎月		
	①～③について意識の向上に努める。	適時		
1-3. 軽油使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底(アイドリングストップ、経済運転など)	毎日		
	②車両点検の実施(車の状況、タイヤ空気圧チェックなど)	毎日		
責任者 東家剛司	③社用車の車両別燃費の把握	適時		
	①～③について意識の向上に努める。	適時		
2. 廃棄物のリサイクル化と廃棄物排出量の削減	①廃棄物の分別徹底	毎日		
	②リサイクル促進	毎月		
	③適切な業者の選定と引渡	適時		
	④マニフェスト伝票の適切な管理	適時		
責任者 上野桂樹				
3. 水使用量の削減	①節水ステッカー表示	毎日		
責任者 東家剛司	②節水の工夫と実施(適量の給湯、出しっ放し防止など)	毎日		
	意識向上に努める。			
4. 地域貢献	①ボランティア活動の実施	年1回		
責任者 上野桂樹				
5. ITC施工の推進	①ITC施工活用の勉強の実施	-		
責任者 上野桂樹				

評価基準

○：出来た
△：改善の余地あり
×：出来なかった

環境経営目標の実績、評価と今後の取組内容

取組期間：2023年7月～2024年6月（2023年度）

項 目	2021年度 実績	2023年度 目標値（△ 2%）	2023年度 実 績	達成度	判定	評 価 及 び 今 後 の 取 組 内 容
C02排出量（kg-C02）	486,689	476,955	505,206	94%	○	C02排出量はほぼ達成できた。
電気使用量（kWh）	12,525	12,275	8,432	146%	○	電気使用量も達成できた。更なる節電に対する意を、社員全体に浸透していきたい。
ガソリン使用量（ℓ）	22,518	22,068	27,463	80%	△	ガソリン使用量は未達成だった。去年と同様に遠方の現場が多かった為と考えられる。
軽油使用量（ℓ）	166,265	162,940	169,161	96%	○	軽油使用量もほぼ達成できた。引き続き達成できるよう現場では、アイドリングストップを心がけるように努めていく。
一般廃棄物のリサイクル	－	分別活動推進	分別活動を推進した。	100%	○	今期も分別活動を推進できた。（写真参照）
産業廃棄物のリサイクル	－	建設リサイクル廃棄物のリサイクル化100%維持	建設リサイクル廃棄物のリサイクル化100%を維持した。	100%	○	引き続き、社内文書は裏紙使用を徹底。工事現場では、建設リサイクル法を順守するために保管場所の確保や分別活動の推進を実施する。
水使用量	－	節水活動の推進	節水活動を推進した。	100%	○	今後共、分別活動を徹底していく。
地域貢献	地域清掃	1回/年	清掃活動を実施した。	100%	○	今回も節水活動を推進できた。
車の燃費向上	エコカーの導入	1台/年	導入出来なかった	0%	×	今後共、社員の意識向上に努めていく。
ITC施工の推進	施工の適応	－	ITC工事部新設	0%	－	今後とも、ロードクリーン等の清掃活動に取り組んでいく。
						ITC活用の施工に取り組んでいく。

☆電気のC02排出係数は2023年度九州電力調整後排出係数0.462kg-C02/kWhを使用

☆☆二酸化炭素排出量＝電気使用量×0.462
 ＋ガソリン使用量×2.32＋軽油使用量×2.58

判定基準
 100%～90% ○
 89%～70% △
 69%～ 0% ×

具体的な取組状況

①CO2排出量削減



使わない照明はOFF



使わないエアコンもOFF

②分別活動の推進



ペットボトル、ビン、カン、燃えないゴミ



燃えるゴミ、プラスチックゴミ



ごみの種類はハッキリと



わかりやすく明示する

③水使用量削減



④地域貢献

ボランティア活動（道路清掃） 2023. 9. 26



清掃作業中



総勢12名（カメラマン含）

（ヤマメの放流） 2023. 10. 6

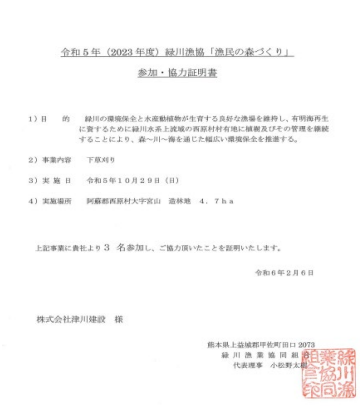


清掃作業中

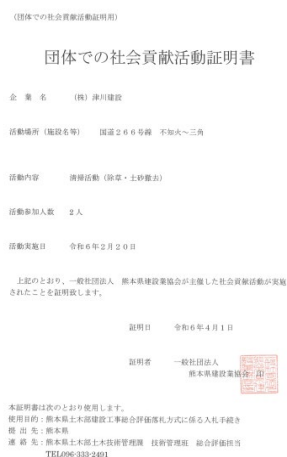


総勢16名（カメラマン含）

ボランティア活動（漁民の森づくり）



団体での社会貢献



津川建設協賛でグランドゴルフ大会

第1回
美里町GG津川建設杯大会
令和5年9月5日
美里町栗崎芝グラウンド



主催 美里町グランドゴルフ協会
協賛 株式会社 津川建設
後援 美里町 教育委員会・体育協会



環境法規の遵守評価

遵守評価の結果、環境法規の違反はありません。

なお、関連機関からの指導や訴訟はありません。

環境法規制登録表（遵守評価表）

遵守評価日：2024年7月20日
評価者 上野 桂樹

法規制等	適用内容	対象設備、施設	届出	遵守事項（法規制/自主規制）	頻度等	記録	遵守評価	コメント
家電リサイクル法	テレビ、（小型）エアコン使用	テレビ、	－	1. リサイクル料支払い（発生時のみ）	支払い時	領収書	-	
PCリサイクル法	PC、周辺機器使用	パソコン類	－	2. 廃棄時の適正処置（発生時のみ）	廃棄時	業者報告書等	-	
自動車リサイクル法	公用車の適切な廃棄	公用車	－	1. リサイクル料支払い（発生時のみ） 2. 廃棄時の適正処置（発生時のみ）	支払い時 廃棄時	領収書 業者報告書等	- -	
フロン排出抑制法	第1種特定製品の管理者（フロン使用）	業務用エアコン 室外機	－	1. 簡易点検の実施	適時（3ヶ月毎）	点検表	○	
	業務用エアコンの廃棄	業務用エアコン（フロン使用）		2. 7.5kW以上（50kW未満）の室外機のメーカー点検	適時（3年毎）	メーカー点検記録	-	
	第1種フロン類の回収業者			2. 廃棄時の適正処理（発生時のみ）	廃棄時	領収書、業者報告書等	-	
				処理委託書提出、処理報告書の受理				
建設リサイクル法	建設（土木）工事に係る資材の再資源化の促進	土木工事資材	－	1. 土木工事に係る分別、再資源化の実施	対象工事実施時	施工計画書	-	
			○	2. 対象工事の7日前までの市町村長への届出			-	
			○	3. 再資源化完了の書面報告			-	
騒音規正法	土木工事における騒音規制の順守	特定建設作業	○ ○	1. 規制基準に従った施工方法の実施 2. 適切な工事時期の設定	対象工事実施時	施工計画書	○ ○	
振動規正法	土木工事における振動規制の順守	特定建設作業	○ ○	1. 規制基準に従った施工方法の実施 2. 適切な工事時期の設定	対象工事実施時	施工計画書	○ ○	
廃棄物処理法	産業廃棄物の保管	産業廃棄物置場	－	1. 表示板の設置	設置時	（掲示板）	○	
	清掃、漏洩防止		－	1. 清掃、漏洩防止	1回/週（確認）	－	○	
	委託契約書	委託業者	－	1. 委託契約書（書面）	契約時	委託契約書	○	
	マニフェスト伝票管理	委託業者	－ －	1. マニフェストの発行、管理 2. 各票の受領確認	処理委託時 発行後	マニフェスト伝票 マニフェスト伝票	○ ○	
	産業廃棄物の運搬	運搬作業	－ －	1. 産業廃棄物運搬の表示 2. マニフェスト伝票の携帯	運搬時 運搬時	車両横の表示 マニフェスト伝票	○ ○	
	多量廃棄物排出	産業廃棄物		前年度排出1000t以上	1回／年	計画書	-	1000 t 未満(2022年度)
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	産業廃棄物	－	1. マニフェスト伝票の集計（4月～翌年3月の1年分）	1回／年	産業廃棄物管理票交付等	○	
	状況報告		－	2. マニフェスト伝票の携帯（同年4月～6月に届出）	1回／年	状況報告書	○	
消防法 （適用外：指定数量の1/5 以内の保管）	潤滑油：6000×1/5＝1200ℓ	倉庫	－ －	1. 規定保管数量の遵守 2. 5Sの推進、漏洩なきこと	購入、保管時 使用時	－ －	○ ○	
水質汚濁防止法	事故時の報告		－	公共河川に重油等の水質汚濁物質を排出し、水質汚濁をした場合は、所轄の警察、保健所又は山鹿市の環境	事故発生時	環境事故報告書	-	
浄化槽法	法で定める年1回の検査	浄化槽	○	法廷検査	1回／年	浄化槽法廷検査結果書	○	
	日常の保守点検			浄化槽管理者の義務(保守点検)	1回／月	保守点検記録カード		
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業	石綿を使用している建築物等	-	特定粉じん排出等作業を行う14日前までに都道府県の窓口に届出	作業前	処分時 マニフェスト伝票	-	

代表者による全体の評価と見直し記録

1. 全体の評価 報告：2024.8.7

No.	評価事項	評価結果(指摘事項)	改善内容	期限	改善責任者
1	環境関連法規等の順守状況	遵守できている。 特に問題はなし			
2	環境目標の達成度 活動の進捗状況等の確認	①CO2排出量、電気使用量、軽油使用量は達成できた。 ガソリン使用量が目標未達成だった。 ②他の項目は、目標を達成できた。 ③環境活動は、取組みを実施した。	CO2の環境目標達成率は94% ガソリンの環境目標達成率は80% 軽油の環境目標達成率は96% 改善されてきているが去年同様に 遠方の現場が多いためと考えられる。	2024年 6月30日	環境管理責任者
3	環境に関する苦情や要望 対応状況	苦情・要望などは発生していない。			
4	前回の代表者の指示事項 への対応	CO2排出量削減の教育を行い、活動への意識は向上した。 遠方工事が多い為、ガソリン使用量が達成出来なかった。	ガソリン削減の再教育を、監督会議 等を通じて促し改善に努めた。		
5	その他指示事項	特にありません。			

2. 全体の評価と見直し

実施日：2024.8.7

代表取締役 津川 幸誠

全体の評価

EA21に取組みはじめて3年、具体的な数値目標によって環境意識が向上し、社員全体が積極的に活動へ取り組むことができました。
 今期は、前年度に比べて工事量はほぼ同じであるが遠方の現場も多いためガソリンの使用量が増加した。
 CO2排出削減の目標はガソリン使用量以外は達成できているので活動への取り組みが向上している。
 現場での施工は、事故・苦情もありませんでした。
 工期短縮を目標に行いました。

見直し事項

No.	環境マネジメントシステムの見直し事項	見直し結果	改善内容	期限	改善責任者
1	環境方針、環境目標、環境活動 の変更の必要性	社用車の購入予定がなく購入費用の高騰から、変更の 必要性ありと判断する。	ITC施工の推進。	期中	管理責任者
2	環境経営システムの変更の必要性	今回は、変更の必要性なしと判断する。			
3	実施体制	今回は、変更の必要性なしと判断する。			